



今村 定一

中学1年生を 3クラスにせよ

質問

今年の入学が80名を切つて、近年には無い2クラスとなった。このことは事前に承知をしていたはず。どのような対策を取って入学式を迎えたのか、現実化した2クラスをどのように認識しているか。

教育長答弁

以前よりこの事態は承知していた、そのために、県にも働きをしてきた。3クラスにすることは出来ないが、IT重視の加配を願う事が出た。この結果が学校全体には良い結果と認識している。2クラスになったことで学習面やクラス運営に問題が生じてはいないと聞いている。生徒からも保護者からも問題意識はないと承知している。

質問

現状の認識として県が3クラスを認めるはずがない。この問題は町の問題として、後にも先にもこのようなクラス編成がこの子供たちだけということですか。1クラス30人以下が現代教育では理想とされている教育現場で38人という学級が子供たちと与える影響が本当に無いと認識しているのか。学習面や学校行事、特に学習面でこのまま3年間過ごした場合の影響は大きいものと感じる。教育長としてこの子供たちの3年間に責任がある。町費採用の教員を配置して3クラスにする考えはないか。

教育長答弁

町費採用の教員を配置しての考えはなかった。費用の面でも、学校としても考えなければならぬ問題も

一般質問

ある。この学年の問題は今後校長とも協議しながら対応を考えていきたいと思う。

魚野川の自然を 取り戻せ

質問

「あずまばし」と「まんねんばし」の間は自然豊かで川そのものです。以前は誰もがこの場所で泳いだり魚取りをした、田舎の原風景の所でした。今は水量も乏しく、石が堆積し昔を偲ぶ雄姿は消えてしまつて暫し経ちます。一流の田舎町を提唱する町長こそ、この付近一帯の復元が出来るものと信じます。国や県に働きかけ昔の源流の雄姿の復元を望みたいが考えは。

町長答弁

私もその場所については思い出深い感があります。

自然や時の流れによって、その時々姿を変えて住む人々に見せているのも自然の力です。手を入れて復元しても長く続くとは限らない。あるがままの姿を生かした川との触れ合いができる場所こそ今必要と感じています。そのための方策を考えていきたい。

質問

河川改修が進む中で、川と親しむ場所は魚野川でも数カ所出来ている。あえて問題の場所を

同じ様にする必要がない。

山・川・野が揃ったわが町に現存しないのが唯一、ダイナミックな川遊びの出来る場所です。岩場からダイビング、石を投げては素潜り、子供から大人まで歓声が上がると自然な楽しさ。今の町に必要な

のはこの歓声が聞こえる場所づくりだと思えます。

町長答弁

昔を偲ぶ話として伺ったが、町民のどれほどの方がそう思われているか、知りたいところです。何れにしても町の一存で出来る事でもありませんので、利用方法については関係機関と協議しながら検討して参ります。



クラス編成の数はこれでよいか